

**事業名：災害・被ばく医療科学分野の人材育成を通じた地域共創・定着推進事業****長崎大学(共同申請：福島大学、福島県立医科大学) 連携市町村：川内村、富岡町、大熊町、双葉町****現地拠点：福島県双葉郡川内村上川内町分138-1/富岡町大字本岡字王塚622-1/大熊町大字大川原字南平1717/双葉町大字長塚字町西73番地4****事業のポイント**

住民とのリスクコミュニケーションを復興のフェーズを踏まえながらさらに深化させ、住民の安全・安心の担保と教育機会を提供するインターンシッププログラムやセミナーを通じて自治体職員や、災害被ばく医療科学や地域医療・保健・福祉、環境放射能学を担う人材等を浜通りに根付かせる。

これまで構築してきた災害被ばく医療科学分野のグローバル人材育成システムを基盤として、種々のインターンシッププログラムやセミナーを通じて福島国際研究教育機構(F-REI)をはじめとする浜通りの研究機関等でグローバルレベルの研究教育を行う人材を根付かせる。

**人材育成・定着計画及び目標**

毎年度種々のセミナーを開催し、毎年80名以上、5年間で400名以上がセミナーに参加する体制を整える

F-REIやJAEAのような浜通り地域の研究所で研究員として働く人材、医療人として働く人材や環境評価の専門家など浜通りに求められる人材の育成と定着を図る。

本取り組みで学んだ学生等のうち、5年間で40名以上をF-REIやJAEAのような浜通り地域の研究所で研究員として働く人材や医療機関で勤務する医療人を育成する。

**2026年度の活動内容**

1. 長崎大学、福島県立医科大学等の学部学生、大学院等を対象として、複合災害からの復興に向けたステークホルダーの連携、専門家の果たす役割について学ぶセミナーを開催する。
2. 長崎大学が復興推進拠点を設置している自治体において、地域住民を対象とした放射線健康リスクコミュニケーションを実施する。
3. 認知症の基礎知識、認知症高齢者への対応方法、見守りの実践方法を学ぶ研修会を実施する。
4. 口腔保健教育、災害時口腔ケア教育、誤嚥性肺炎予防支援を柱とする地域住民向け人材育成プログラムを構築する。
5. 長崎大学、福島県立医科大学の修士大学院生や国内外の若手研究者が原子力災害からの復興における専門家の役割を学ぶセミナーを開催する。

**取組によって得られる成果**

住民の安全・安心の担保と教育機会を提供するのに加え、災害被ばく医療科学や地域医療・保健・福祉、環境放射能学を担う人材を浜通りの研究機関等に根付かせる

